

148番地

作詞・曲＝玉城まさゆき

記憶の糸をひとつ手繰れば

市場へとつづくなだらかな小道

大きな時計台 小さな窓に

映るかお悲しや 時代の面影達

声をかけてみよう 届くはずもないけれど

あの時代はもう戻らないけど

せめて今だけ居させて

～間奏～

街は静かに色を変えてく

錆びついた格子 赤煉瓦の家

子猫の鳴き声 床屋の看板

近くも悲しげに揺れてみせてくれた

声をかけてみても 届くはずもないけれど

あの時代はもう戻らないけど

せめて今だけ居させて

あの時代はもう戻らないけど

ここは僕らの 住む家

2024年3月14日